



市議会だより

第175号

平成30年2月15日



12月定例市議会

議長、副議長を選出
新しい市議会がキックオフ！

一般質問・・・5～8

- ◆新しい市議会がキックオフ!・・・2
- ◆主な事業と予算額・・・4
- ◆常任委員会審査報告・・・4
- ◆議決結果・・・9
- ◆意見書・陳情・表彰・・・10
- ◆議会日誌・編集後記・・・10

市議会だよりの
バックナンバー



12月定例会

改選後初となる12月定例会は、12月1日から22日まで開かれ、正副議長の選挙、常任委員の選任など、議会の構成を行ったあと、議案の審議、さらに15人の議員が一般質問を行いました。

議長に齊藤正治議員

副議長に藤田昌隆議員を選出

平成29年11月19日の市議会議員選挙後、初めての議会となった今定例会では、最初に正副議長の選挙、次に議会運営委員や各常任委員の選任などの議会構成を行いました。議長には齊藤正治議員（自民党鳥和会）が指名推選により選出されました。

齊藤議長は、就任に際し、「市民との対話を行い、その声をくみ取りながら、鳥栖市発展のため、市民の皆様への期待に応えつる議会として、チエック機能の強化、政策提言等の強化に努めてまいりたい」と抱負を述べました。

副議長には、藤田昌隆議員（新風クラブ）が指名推選により選出されました。

藤田副議長は平成21年に初当選、現在3期目で、これまでに建設経済常任委員長などを歴任しています。

監査委員に森山議員

議会選出の監査委員は、森山林議員（自民党鳥和会）の選任に同意しました。

森山議員は現在6期目で、議長、厚生常任委員長などを歴任しています。

会派は5つに

所属議員の多い順（同数の場合は届出順）に記載。

◎11代表者、以下年齢順

■自民党鳥和会（11人）

- ◎森山 林 小石弘和
- ◎齊藤正治 久保山日出男
- ◎古賀和仁 久保山博幸
- ◎中川原豊志 江副康成
- ◎竹下繁己 松隈清之
- ◎樋口伸一郎

■新風クラブ（4人）

- ◎下田 寛 藤田昌隆
- ◎伊藤克也 西依義規

■社会民主党・小さな声の会（3人）

- ◎中村直人 内川隆則
- ◎牧瀬昭子

■公明党（2人）

- ◎飛松妙子 池田利幸

■日本共産党議員団（2人）

- ◎尼寺省悟 成富牧男

新しい市議会がキックオフ！

市長提出 18 議案、議員提出 2 議案を審議



藤田昌隆
副議長

齊藤正治
議長

各委員会の新しい顔ぶれ

※掲載は、◎=委員長、○=副委員長、以下年齢順

総務文教常任委員会(8人)



西依義規 (新風クラブ) 竹下繁己 (自民党鳥和会) 飛松妙子 (公明党) 中村直人 (社会民主党・小さな声の会) 尼寺省悟 (日本共産党議員団) 齊藤正治 (自民党鳥和会) ◎松隈清之 (自民党鳥和会) ◎下田 寛 (新風クラブ)

建設経済常任委員会(7人)



池田利幸 (公明党) 久保山博幸 (自民党鳥和会) 久保山日出男 (自民党鳥和会) 内川隆則 (社会民主党・小さな声の会) 小石弘和 (自民党鳥和会) ○伊藤克也 (新風クラブ) ◎江副康成 (自民党鳥和会)

厚生常任委員会(7人)



牧瀬昭子 (社会民主党・小さな声の会) 藤田昌隆 (新風クラブ) 古賀和仁 (自民党鳥和会) 成富牧男 (日本共産党議員団) 森山 林 (自民党鳥和会) ○樋口伸一郎 (自民党鳥和会) ◎中川原豊志 (自民党鳥和会)

議会運営委員会

◎松隈清之(自民党鳥和会)
○下田 寛(新風クラブ)

内川隆則(社会民主党・小さな声の会)
成富牧男(日本共産党議員団)
中川原豊志(自民党鳥和会)
飛松妙子(公明党)
樋口伸一郎(自民党鳥和会)

議会改革検討会

◎久保山日出男(自民党鳥和会)
◎伊藤克也(新風クラブ)

内川隆則(社会民主党・小さな声の会)
尼寺省悟(日本共産党議員団)
飛松妙子(公明党)
竹下繁己(自民党鳥和会)
樋口伸一郎(自民党鳥和会)
(※議会改革検討会のみ)
◎川会長、○川副会長)

市議会だより 編集委員会

◎西依義規(新風クラブ)
○樋口伸一郎(自民党鳥和会)
成富牧男(日本共産党議員団)
池田利幸(公明党)
牧瀬昭子(社会民主党・小さな声の会)

一部事務組合等の 議員を選挙

(※議長充て職以下は年齢順)

鳥栖・三養基地区

消防事務組合議会議員

齊藤正治(議長充て職)
小石弘和 内川隆則
尼寺省悟 松隈清之
鳥栖地区広域市町村圏
組合議会議員

鳥栖・三養基西部環境

齊藤正治(議長充て職)
成富牧男 久保山博幸
中川原豊志 江副康成
西依義規

施設組合議会議員

齊藤正治(議長充て職)
久保山日出男 飛松妙子
伊藤克也 樋口伸一郎
牧瀬昭子

佐賀県東部環境

齊藤正治(議長充て職)
久保山日出男 飛松妙子
伊藤克也 樋口伸一郎
牧瀬昭子

佐賀県競馬組合議会議員

古賀和仁 藤田昌隆

佐賀県後期高齢者医療

中川原豊志 広域連合議会議員

12月定例会での

議案審議概要

今定例会には、市長から18件、議員から2件の議案が提出されました。

補正予算では、補助事業として、社会保障・税番号制度に係る基幹系情報システム等の改修経費、障害児施設給付費など、単独事業としては、公民館類似施設整備補助金、子どもの医療費助成事業、県営水利施設整備事業負担金、県営防災ダム改修事業負担金、明治維新150年記念事業、街路調査負担金、新入学児童生徒に対する就学援助事業、土木施設の災害復旧経費などが計上され、それぞれ審議されました。

また、条例案として地域休養施設の使用料の改定、社会教育研修場の廃止、期末手当等の改定など8件の議案が審議されました。

市長提出議案は

原案のとおり可決

補正予算などの議案は、各常任委員会に付託され、議員による活発な質疑が行われた後、すべての議案が原案のとおり可決されました。

平成29年度 一般会計補正予算

補正額 2億5,564万8千円
予算合計 247億4,009万円

【主な歳入】	
繰入金	1億308万5千円
市税	7,000万円
国・県支出金	5,843万9千円

主な事業と予算額

- 障害児施設給付費……………1 億円
- 県営水利施設整備事業負担金……………2,000 万円
- 子どもの医療費助成事業……………1,800 万円
- 道路改良工事費……………1,700 万円
- 土木施設災害復旧事業……………1,700 万円
- 情報システム改修等事業……………1,277 万 1 千円
- 就学援助事業……………656 万 8 千円
- 佐賀県東部環境施設組合負担金……………454 万 6 千円
- 街路調査負担金……………240 万円
- 明治維新 150 年記念事業……………100 万円
明治維新 150 年を記念し、偉人・偉業を顕彰して未来の子どもたちへ継承するもの
- 公民館類似施設整備補助金……………19 万円

常任委員会審査報告

予算説明や
質疑内容

総務文教常任委員会



総務課 消防団員退職報償金の法的根拠。議員・特別職職員と一般職員との職員手当の引き上げ月数の違い。

教育委員会事務局 特別支援学級数の今後の見込みと対応。就学援助に係る新入学児童生徒学用品の支給に關し、申請手続きと支給時期。中学校給食に關し、完全給食の検討・協議の状況と今後。

建設経済常任委員会



建設課 田代大官町・萱方線道路改修事業に伴う市営住宅入居者に対する移転補償等。土木施設災害復旧工事の土砂の量。

国道・交通対策課 新鳥栖駅周辺駐車場使用料の増加の理由。

農林課 鳥栖市地域休養施設条例の一部を改正する条例に關し、設置目的への青少年健全育成の追加と使用

料値上げの関連。

上下水道局 寺内ダムの復旧に要する経費の本市負担分に關し、復旧経費の総額。

厚生常任委員会



社会福祉課 障害者福祉費の国庫負担金等返還金に關し、国、県への返還金に對しての今後の対応や考え方。生活保護の現状。介護給付費負担率の割合と具体的な負担金額、負担額の増加について。

こども育成課 子どもの医療費の増額理由。保育士人件費の減額補正の内容に關し、不測の事態における人員の確保などに考慮するよう要望。
国保年金課 国民健康保険の制度改正に伴う平成30年度標準保険税率。
環境対策課 次期ごみ処理施設建設のこれまでの経過と今後の予定。



一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



インターネット録画中継はこちら→

今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。ここには、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



発達障害者の支援体制について

問

1歳半・3歳児健診で医療機関の診断を勧められた後に療育等に結びついていないケースがあると聞く。また高校進学時の情報提供が十分ではないとの声もあるが就学や高校進学・就職時の支援体制は十分なのか。また療育施設等にも空きがないとの声もあるが施設等の供給量は十分なのか。また教職員にも専門的な知見が求められるが研修等にはどのように取り組まれているのか。

答

健診後に対象者への連絡を継続し支援が途切れないようにいたします。情報の引き継ぎや情報提供には校長会等を通じて徹底します。また施設等については必要量の把握に努めていきたい。研修については現在も進めているが更なる充実を努めます。

このほかの質問

障害者支援について

国や県が進めている工賃向上計画への鳥栖市の立場はどうなのか。目標額を達成する姿勢は持っているのか。



優しい鳥栖としての独自の施策を

問

①「障害者総合支援法」の理念にもある、「可能な限りその身近な場所において必要な支援をうけられること」を十分に考慮し、現在本市にはない、「人工内耳体外機」という医療機器装着者への助成制度を、本市主体で進めていただきたいと強く要望するとともに、執行部のご意見を伺います。

答

医療保険の対象となることが適切であると考えております



東部ごみ処理施設の進捗状況は

問

現在の西部ごみ処理施設において、最終処分場、処理システム、維持運営管理費の問題等があったが、今後東部広域ごみ処理施設検討委員会での検討内容、スケジュール、事業者選定についての意志決定過程のオープン化への考えは。

答

検討委員会にて、策定した基本方針は①安全で安定性に優れ、長期的に稼働が可能な施設②環境に優しく、資源循環型社会を推進

問

が、本市としましても、本人負担が少なくなるような方法や施策の可能性を探っていきたくと考えております。

②保育士等の処遇改善に繋がるキャリアアップ研修等については、該当する保育士等や事業所に対し、極力負担のかけられないような本市独自の支援体制や、助成制度を検討する必要があると思いますが、執行部の考えを伺います。

答

施設型給付費の加算を含む範囲内で対応すべきものと考えますが、保育従事者の処遇改善については、保育士確保に向けた重要な課題として認識をしております。

する施設③災害に強く、地域の防災拠点となる施設④地域のシンボルとなり親しまれる施設⑤経済性や効率性に優れた施設。処理システムについてはストロー力式焼却方式、シャフト炉式、流動床式熔融方式を検討。平成30年度に新しい委員会を設置し、事業方式を決定後、価格と技術面での総合評価を行い、平成31年度末には事業者を決定、検討内容については議事録、資料を組合HP等で可能な限り公開し、事業者選定における透明性の確保を図ります。

このほかの質問◆国体種目等の進捗状況／通学時の児童の安全について



都市計画道路と 駅周辺整備は？

中川原豊志(自民党鳥和会)

問 都市計画道路の見直し検討会の進捗状況について伺う。

答 鳥栖駅の橋上駅北方針を契機として、これまでの課題であった東西連携路線「久留米甘木線」「飯田蔵上線」及び「酒井西宿町線」の鉄道交差3路線を中心に見直しを進めることとしている。将来の道路ネットワークにおいては、様々な観点から検証を重ねており、平成31年度からは、あらためて都市計画道路見

直し検討懇話会を通じて進めていく。

問 都市計画道路見直しと鳥栖駅周辺まちづくり事業との連携はできているのか？

答 鳥栖駅周辺まちづくり基本構想において、まちづくりへの効果も高い、橋上駅と道路単独立体交差とする案を決定したが、都市計画道路の見直しについては、現段階において、いつ頃になるかは持ち合わせていない。いずれにしても、鉄道を交差する都市計画道路の重要性は認識している。

予想B/C？



新鳥栖駅関連整備

江副康成(自民党鳥和会)

問 鳥栖駅周辺整備、新産業集積エリア及び市庁舎整備などの大型事業が目白押しだと枕詞のように橋本市長は鳥栖のことを語られるが、これ以外はないという閉じた志向に陥ってはいませんか？

答 鳥栖駅周辺整備、新産業集積エリア及び市庁舎整備などの大型事業が目白押しだと枕詞のように橋本市長は鳥栖のことを語られるが、これ以外はないという閉じた志向に陥ってはいませんか？私には同時に危惧する。橋本市長が例示されるもの以外にも必要な政策は多々あると私は思っている。様々な事業構想がある中で、どこから手をつけていくかは、その準備状況、関係者

の熱意、事業の収益採算性、つまりそれをやったことが次の健全な投資へとつながっていくような公共事業からとすべきである。そのためにはそれぞれの事業案を比較検討して公平に事業の優先順位を決める手法が必要である。そのツールとして予想B/Cという手法は考えられないか。

答 今後の鳥栖市の発展のために各事業の進捗状況や財政状況を見極めつつ、費用対効果を常に念頭におくとともに、事業検討手法の情報収集に努めつつ、効果的かつ効率的な事業の実現を図り、持続可能な財政運営に努めてまいりたい。



新年度予算の 基本的な考え方

中村直人(社民党小さな声の会)

問 先の市議会議員選挙において11度目の議席を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。そこで市民生活向上の諸施策・予算化が求められているが、新年度予算において市長の基本的な考え方ならびに各部・各課において力を入れたい課題と対応・予算化をどう考えているかを伺う。

答 平成30年度の予算編成に当たっては、事業内容や必要性を

検証した上で市民の期待に心え得る予算を編成したい。将来都市像を実現していくために、まちづくりの拠点としての鳥栖駅周辺整備事業及び災害に強いまちの拠点としての庁舎整備事業を機を逃さず推進していくとともに、健康・福祉・子ども・環境・産業・教育や文化・スポーツ施策など限られた財源の中で重点的・効率的な事業を行い推進してまいりたいと考えています。

このほかの質問 ◆大型事業等の財政計画について



投票率向上 に向けての施策

久保山博幸(自民党鳥和会)

問 今回の鳥栖市議会議員選挙。過去最低といわれた前回、4年前の投票率を更に下回り、51.58%。「住みたいまち 鳥栖」を目指す本市として非常に残念であり危機感さえ覚える。今回の投票動向についてどうお考えか。また、今後の投票率改善に向けてどの様な取組を行うのか。

答 郊外部での投票率は高く、市街地やアパートが多い地域では

低くなる傾向がある。年齢別では10代が38.44%、20代が27.55%、30代が35.46%となっており、以降、世代を追うごとに高くなり、70代の77.12%が最も高くなっている。若い世代の政治や選挙に対する関心の低さが根底にあるが、本市の特徴として、人口の流動性が高く、地域に根付かないまま生活を送る市民も多くいるものと思われる。鳥栖市の事をよく知らない、誰に投票していいかわからない、といった投票棄権要因がある。選挙啓発、主権者教育の必要性から、学校とも連携を図り向上に努める。



中学校給食 について

尼寺省悟(日本共産党議員団)

問 中学校の選択弁当方式において、弁当の供給不足があったと聞か、実情はどうか。契約食数を超えた場合、どう対応していくのか。

答 本年8、9月に1、200食を超える可能性がある判断されたので、教職員の食数減の了承は得た。今後生徒の食数だけで1、200食を超えると判断された場合は、事前に相談をしたい。



多胎育児家庭 に対する支援

飛松妙子(公明党)

問 多胎での妊娠、出産、育児にかかわる課題について伺う。

答 死産率や乳児死亡率が高く、未熟児のリスクが高い。出産・育児に対する不安が強く、母親への身体的精神的な負担が大きい。育児に関する支出が一時的に集中する、外出が困難である等、様々な問題を抱えておられる。

問 多胎育児家庭に対する支援①
こんにちは赤ちゃん訪問事業の

問 中学校の完全給食はいつから実施するのか。いまだに目途がつかないのは何が問題なのか。

答 中学校生徒への完全供給の方針は変更されているとは考えていない。どこに施設をつくるのか。誰が作るのか。直営なのか。民営なのかという手法、及び整備・運営に伴う財政負担の在り方について、完全給食へ移行する場合、どのような選択肢が有効であるのか。検証を行っている。

時期については、できるだけ早い時期にお示ししたい。

中で、多胎児出産の先輩ママと一緒に家庭訪問ができないか。②多胎育児に関する交流や教室の充実が必要であるが本市の取組は？③妊婦健診の更なる支援が市独自で出来ないか。④パーキングパーミットの期間の延長を市独自で取組みは可能か。

答 ①先輩ママの同伴訪問も検討していきたい。②「えだまめクラブ」とも連携をし、情報提供等の支援に努める。③負担軽減になるよう検討する。④佐賀県と、利用しやすい制度になるよう協議していく。
このほかの質問◆女性や若者の声を市政へ反映させる取組について



小郡市と東西 道路の検討を

西依義規(新風クラブ)

問 国家戦略特区が不採択であっても、今回の連携を活かし、鳥栖JCT付近の課題や道路網を小郡市・基山町と協議してはどうか。

答 地域共通の課題に対して、隣接自治体との連携によって取組を進めていくことは、本市の九州における交通の要衝としての強みを最大限活かし、県境を越えて地域の一体的な浮揚に寄与するもので、今後、国家戦略特区への共同



新市庁舎再生 可能エネルギーを

牧瀬昭子(社民党・小さな声の会)

問 九州北部豪雨災害の被災地の高齢化により山の整備が出来なくなっていたことが被害拡大の一因だった。その事を受け、鳥栖市が行っている森林の間伐状況を伺う。また、50年ぶりの新市庁舎建設の際には、次世代のために、化石燃料や原子力に頼らない再生可能エネルギーを最大限活用し、鳥栖産の間伐材を燃料とした地産地消エネルギーを有効活用できないか。



小郡市・基山町と連携した道路(例)
==赤い点線部分

提案を行った2市1町に久留米市を加えた、筑後川流域クロスロード協議会をはじめ、様々な形で周辺自治体との広域連携の枠組みを活用しながら、取り組んでまいります。

答 平成20年度から平成24年度にかけて、約205ヘクタール、平成28年度から平成29年度は、約24ヘクタールの私有林の間伐を行っています。せっかく育てた木をそのままにするのはもったいないですが費用対効果を考えると搬出が難しい状況となっております。また新市庁舎エネルギーにかかるコスト削減を図ることは重要な課題と認識しており、省エネ技術の導入によるコスト削減を図ってまいりたいと考えております。
このほかの質問◆市民ボランティア派遣運用準備の進捗状況



子どもの貧困対策について
伊藤克也(新風クラブ)

問 子どもの貧困の問題に対する社会全体の関心が高まっている。子どもの貧困について考えていく上では、学校の役割が大きいと思うが、教育現場での把握の状況と現状認識について伺いたい。

答 各学校では、担任教師をはじめ複数の職員で、児童生徒の変化に気づく体制を整えております。現在のところ、貧困問題により食に関して対応を急ぐ必要のあると認め



ミニバスの拡充・延伸は
成富牧男(日本共産党議員団)

問 高齢化が進み、少なからぬ地域で、「買い物や病院通い等が不便になった。この地域にもミニバスを」との声は切実さを増している。ミニバスの路線の拡充や延伸はこれからも可能なか。現在ミニバスが走っていない地域からの新たな要望も、引き続き受けるといふことでしょうか。

答 今後についても、利用者や地域の声をお聞きしながら、少し

られる児童生徒は把握しておりません。学校で懸念がある児童生徒を把握した場合は、学校だけでなくスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、中央児童相談所などの関係機関や、事例によっては民生委員・児童委員や家庭教育相談員等とも連携して実態を把握し、保護者への指導援助を含めて改善に努めてまいります。

このほかの質問◆健康長寿とフレイル予防について

でも利用しやすいルート等の検討を行うなど、利用促進に努めてまいります。

問 新たな計画への移行を急ぐべきだと考えるがどうか。具体的に計画が動き出すのはいつごろか。

答 現計画は平成31年3月に期間が終了することから、新たな法定計画である「地域公共交通網形成計画」への移行が必要と考える。鳥栖駅周辺まちづくりの進捗も踏まえて検討していく。

このほかの質問◆市営住宅、子どものインフルエンザ予防接種助成



高齢者サポート体制について
池田利幸(公明党)

問 交通空白地域の基準から漏れるエリアについてミニバスの路線延伸、増便は出来ないか、今後の地域公共交通の在り方について伺う。

答 鳥栖市地域公共交通活性化協議会で議論し、適宜、実施してきた。平成31年3月に現法定計画である『地域公共交通網形成計画』を策定する中で、利用実態やアンケート調査を行うなど、利用者及び地域のお声を聞きながら、整理、検討を



幼児教育の必要性について
下田寛(新風クラブ)

問 国が幼保小における幼児教育の共通性と、乳児保育から小学校までの連続性を確保する方針を打ち出すことを踏まえ、幼保小連携の重要性をどう捉えているのか。

答 小学校就学前からの連携は非常に大切で、幼保小の連続性・系統性を確保した取組を更に意識して取り組んでまいります。

問 そもそも、幼児教育の担当課はどこなのか？また、鳥栖市独自の

行ってまいりたい。

問 電球の取り換えや買い物の手伝い等、ちょっとしたお手伝いをするシステムである『かせすっ券』事業の導入について伺う。

答 今後の高齢者人口の増加やニーズの多様化に対応するため、生活に困りごとを抱える高齢者とボランティアをマッチングさせ、生活支援サービスを提供する仕組みとして興味を持った。各地の先進事例を調査研究してまいりたい。



自の幼児教育の取組はあるのか？

答 所掌する部署は現状ない。しかし、教育分野と福祉分野の関係する部署で連携・対応して参りたい。また、鳥栖市独自の幼児教育の取組指針は現状設けていない。

問 「子育ての安心」を打ち出す為にも、鳥栖市独自の幼児教育指針を打ち出すべきではないのか？

答 幼保小の連携強化から、中学校への連続性に繋げる必要があると考えている。教科「日本語」の援用の検討を含め、保護者の皆様のご理解をいただき、より良い環境を構築してまいりたい。

12月定例会の付議事件と議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

件名		議決結果
市 長 提 出	平成29年度補正予算 一般会計、特別会計（国民健康保険、農業集落排水） 水道事業会計、下水道事業会計	原案可決
	地域休養施設条例の一部改正 [地域休養施設の使用料の改定等を行うもの]	
	条例を廃止する条例の一部改正 [社会教育研修場設置条例を廃止するもの]	
	指定管理者の指定	
	[公の施設（地域休養施設、滞在型農園施設）の指定管理者を指定するもの]	
	鳥栖地区広域市町村圏組合規約の変更 [介護保険事業に要する経費の負担金について、関係市町の負担割合を変更するもの]	
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 [人事院勧告等に準じ、期末手当を改定するもの]	
	特別職職員の諸給与と条例の一部改正 [人事院勧告等に準じ、期末手当を改定するもの]	
	市職員の給与に関する条例の一部改正 [人事院勧告等に準じ、勤勉手当を改定するもの]	
	監査委員の選任 [森山林議員]	
議員提出	道路整備に係る予算措置の確保等を求める意見書	原案可決
議 事	議長の選挙 [齊藤正治議員]	選挙 (指名推選)
	副議長の選挙 [藤田昌隆議員]	
会 事	議会運営委員の選任 [3ページ参照]	選任
	常任委員の選任 [3ページ参照]	
人 事	鳥栖・三養基地区消防事務組合議会議員の選挙 [3ページ参照]	選挙 (指名推選)
	鳥栖地区広域市町村圏組合議会議員の選挙 [3ページ参照]	
	鳥栖・三養基西部環境施設組合議会議員の選挙 [3ページ参照]	
	佐賀県東部環境施設組合議会議員の選挙 [3ページ参照]	
	佐賀県競馬組合議会議員の選挙 [3ページ参照]	
そ の 他	常任委員会の閉会中の継続審査の件	継続審査
	議会運営委員会の閉会中の継続審査の件	

※古賀和仁議員は欠席

◆賛否が分かれたもの

議員提出	件名	議員名													議決結果								
		牧瀬昭子	成富牧男	伊藤克也	西依義規	池田利幸	竹下繁己	樋口伸一郎	久保山博幸	江副康成	中川原豊志	内川隆則	中村直人	尼寺省悟		藤田昌隆	下田寛	飛松妙子	久保山日出男	古賀和仁	松隈清之	小石弘和	森山林
議員提出	九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に反対する意見書	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	欠	●	●	●	否決

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ※議長（齊藤正治）は表決には参加しません

議会日誌

10月

- 5日 総務文教常任委員会
- 11日 市議会だより編集委員会
全国市議会議長会基地協議会
九州・沖縄部会総会（宮崎市）

11月

- 19日 鳥栖市議会議員選挙投票日

12月

- 1日～22日 12月定例会
- 13日 市議会だより編集委員会
- 22日 市議会だより編集委員会
- 27日 市議会だより編集委員会

- 他議会からの視察来庁【10月～12月】
- | | |
|------------|----------|
| さぬき市（香川県） | 八戸市（青森県） |
| 岩倉市（愛知県） | 千葉市（千葉県） |
| 坂出市（香川県） | 対馬市（長崎県） |
| 大和郡山市（奈良県） | 高山市（岐阜県） |
| 加古川市（兵庫県） | |
- 以上9議会 [来庁者合計64名]

意見書

- 道路整備に係る予算措置の確保等を求める意見書
提出：建設経済常任委員会

※国会及び関係行政庁に送付しました。

表彰

- 旭日小綬章 野田 ヨシエ 氏（元議員）
- 旭日双光章 光安 一磨 氏（ 〃 ）
永瀨 一郎 氏（ 〃 ）
- 旭日単光章 原 和夫 氏（ 〃 ）

**次回定例会は
3月上旬からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。
ご意見はこちらまで。**

電話 0942-85-3525
メール gikai@city.tosu.lg.jp

陳情

- 「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を
求める意見書に関する陳情書

日本労働者協同組合連合会
センター事業団 九州沖縄事業本部
本部長 星平 順子

- 平成30年度税制改正に関する提言について

公益社団法人 鳥栖法人会
会長 大石 耕司

- 新市庁舎・鳥栖市公共施設に再生可能エネルギー
導入を求める要望書

原発を考える鳥栖の会
野中 宏樹

- 要望書

佐賀県木材協会
鳥栖地区木材同業組合
組合長 大野 浩一

私たちが市議会だよりを担当します



改選後の新しい編集委員による初の「市議会だより」です。鳥栖市議会の様子が、この紙面を通じて市民の皆さまに伝わるように知恵を絞って編集作業に取り組んでいます。本紙をより良くするために、ぜひ、皆さまのご意見ご感想をお聞かせください。

編集後記

議会は、「市の意思決定機関」としての活動が主ですが、今回の市議会選における投票率の低下にも表れていきますとおり、もっと議会や市政を市民の皆様に分かりやすく伝え、関心を持っていただく活動、市民参加の拡充を図り、皆様の多様な意見を、民意として市政への反映を図っていく活動が必要ではと感じています▼「開かれた議会」と言っていたように本紙の充実を図ってまいります。
(西依義規)